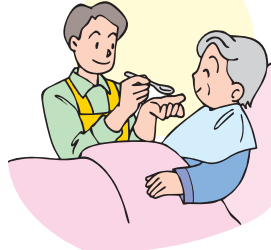
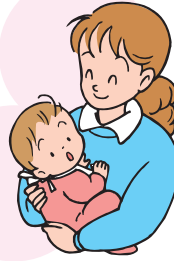
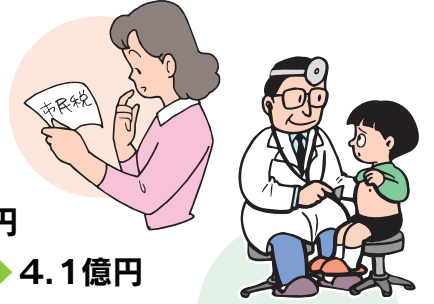


LRTの導入費用=458億円以上



「458億円」って想像もつかない大金だけど、
他の市民サービスはいったいいくらかかっているんだろう？

- 市民が納める「市民税」 → 439億円
- こども医療費の助成(小学6年生～中学3年生までの現物給付) → 22億円
- ひとり親家庭の父母等への手当 → 19.4億円
(生活の安定と児童の健全育成に資するため)
- 地域の担い手として成果を上げた就農者に担い手育成金交付 → 11.3億円
- 特別養護老人ホーム・地域密着型介護施設の新設・増床(定員138人増) → 4.1億円
- 児童扶養手当の拡充、等 → 3.6億円
(2人目10,000円、3人目以降6,000円)
- 生活困窮世帯の児童生徒への就学援助費 → 3.0億円
- 地域内交通(デマンドバス)等への補助 → 0.7億円



458億円もあれば、より充実した市民サービスが受けられます。
**路面電車・LRTよりも
子育て・教育・医療・介護福祉**



巨額の税金を使い、たった1本のLRTを通すのではなく、
宇都宮市全体に公共交通網を張りめぐらせるかを考えなくてはならないのです。

市民合意がないまま、LRT計画は着々と進行しています。

今ならまだこの計画を中止できます!

今しか中止できません!!

中止するために、今、多くの市民の行動が求められています。

ともに行動しましょう! 負の遺産をつくらせないためにも…